

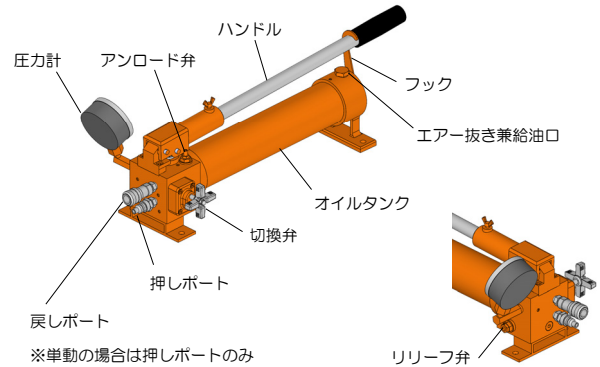
取扱説明書

2023年8月1日 初版

手動油圧ポンプ



4. 各部名称



5. 使用前点検

点検箇所	点検内容
手動油圧ポンプ	☐ 損傷の有無 ☐ 油漏れの有無 ☐ 設置状態の確認
カップラー	☐ 損傷の有無 ☐ 油漏れの有無
油圧ホース	☐ 損傷の有無 ☐ 油漏れの有無 ☐ 接続状態の確認*1

*1 接続手順は別紙参照

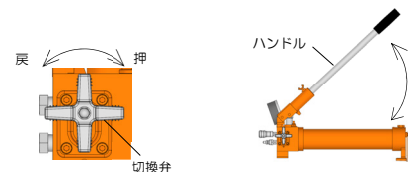
6. 操作方法

- △警告 ご使用前に必ず無負荷での作動確認を行ってください。
- △警告 油圧ジャッキを作動させる際は、載荷物との間に手指・身体を挟まれない様に注意してください。
- △危険 油圧ジャッキが加圧されている場合、急激な圧抜き操作はおやめください。載荷物のバランスが崩れ、荷が落下する可能性があります。

- ハンドルを押下げ、フックを外す。
- エアー抜き兼給油口を緩める（目安 1 回転）
- 伸長（加圧）操作*1
 - 切換弁を「押」方向に締め
 - ハンドルを上下に繰返し操作
ハンドル上げ時に作動油を吸い込み、下げ時に押しポートから吐出します。

*1 ジャッキが引き仕様の場合は「押」で収縮、「戻」で伸長となります
- 収縮（減圧）操作*2
 - 切換弁を「戻」方向に締め
 - ハンドルを上下に繰返し操作
ハンドル上げ時に作動油を吸い込み、下げ時に戻しポートから吐出します。

*2 ジャッキがスプリングまたはガスリタンの場合は「圧抜き操作」で収縮します。
- 圧抜き（減圧）操作
 - 圧力計の指針を確認しながら切換弁を「押」または「戻」締め状態から徐々に緩める。
圧抜きの速度は、切換弁を緩める量に依ります。同じ緩める量でも圧力が高い時ほど、減圧の速度は速くなります。ご注意ください。



1. 使用上の注意

手動油圧ポンプをご使用の際は必ず本書をお読みにになり、内容を十分に理解してから取り扱ってください。

2. 仕様

- 周囲使用温度 -5℃ ～ 40℃
- 作動油 ISO-L-HM VG-32 相当品
- 手動油圧ポンプ仕様 各ポンプの銘版をご確認ください

3. 安全上の注意

注意事項は下記 3 種類に分類しております。

- △危険 取扱いを誤った場合、死亡又は重傷を負う事柄。
- △警告 取扱いを誤った場合、死亡又は重傷を負う可能性がある事柄。
- △注意 取扱いを誤った場合、身体に損傷を負う可能性又は物的損害が発生する可能性がある事柄。
- △危険 手動油圧ポンプの改造はおやめください。動作不良につながる可能性があります。
- △警告 手動油圧ポンプに打撃を与える、落下させるといった強い衝撃を与えることはおやめください。作動不良や油漏れを起こす可能性があります。
- △警告 油圧ホースは確実に接続してください。接続不良の場合、油圧ジャッキが破損する可能性があります。別紙記載のカップラー脱着手順を参考に確実に接続してください。
- △警告 リリーフ弁はジャッキの仕様に合わせて設定しています。ジャッキの仕様以上に上げての使用はおやめください。
- △注意 油圧ジャッキ所要油量が手動油圧ポンプ貯油量を超える使用はおやめください。吸い込み不良や給油口からの油漏れ、その他機器が破損する可能性があります。
- △注意 使用時は必ずエアー抜き兼給油口を緩めてください。締めたまま使用すると作動油の吸い込み不良となり、オイルタンクその他機器が破損する可能性があります。
- △注意 アンロード弁（高低圧切換弁）はあらかじめ設定されています。変更はおやめください。
- △注意 油圧ホースに重量物を載せないでください。また、ねじれが発生するような使用方法もおやめください。濡れやキンク等の変形により強度が著しく低下し、油漏れの原因となります。
- △注意 手動油圧ポンプ近傍で溶接作業等を行う場合は必ず手動油圧ポンプと油圧ホースを火花養生してください。高温により損傷し油漏れの原因となります。
- △注意 手動油圧ポンプは水平に設置してください。タンクが後ろ下がりの場合には作動油の吸い込み不良や給油口から油漏れを起こす可能性があります。

7. 不具合の内容及びその原因と対策

症状	考えられる原因	対策
加圧しない	☐ 切換弁が締まっていない ☐ オイルタンクの油が不足している ☐ ポンプが水平に設置されていない ☐ サクションフィルターの目詰まり ☐ 油漏れがある ☐ 作動油にエア混入あり ☐ エア抜き兼給油口が締まっている	☐ 切換弁を締める ☐ 油量を確認し、補充する ☐ 水平に設置する ☐ 機材を交換する ☐ 機材を交換する ☐ ジャッキの伸長、収縮を数回繰り返す ☐ エア抜き兼給油口を緩める
圧力が保持されない	☐ 切換弁が締まっていない ☐ 油漏れがある ☐ ポンプ内部の破損	☐ 切換弁を締める ☐ 機材を交換する ☐ 機材を交換する
給油口からの油漏れ	☐ ポンプが水平に設置されていない ☐ オイルタンクの油量超過 ☐ ジャッキの急激な減圧	☐ 水平に設置する ☐ 使用ジャッキの所要油量に合わせる ☐ 徐々に減圧する

8. お問い合わせ先・改訂履歴

ご不明な点は下記までお問合せ願います。

大瀧ジャッキ株式会社

本社

住所：東京都足立区北加平町 4-16
電話：03-3620-0171

大阪支店

住所：兵庫県伊丹市野間北 3-4-17
電話：072-783-1360

三郷機材センター

住所：埼玉県三郷市早稲田 8-13-9
電話：048-958-7272

改訂履歴

印刷年月日	版数	改訂内容
2023 年 8 月 1 日	初版	